



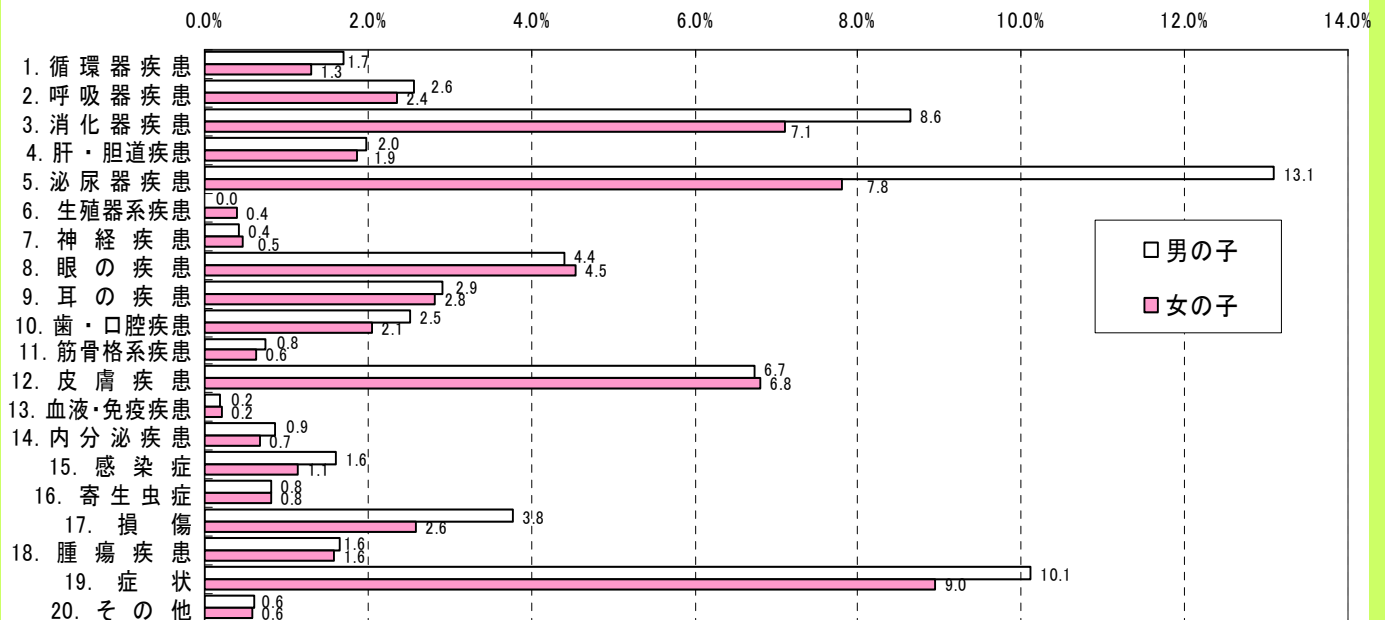
猫ちゃんに多い病気といえは？

■ 猫の疾患（大分類）罹患率

0～10歳の給付金請求データをもとに、猫において罹患率の高い疾患（大分類）を調査した。

犬では、消化器・皮膚・耳の疾患の罹患率が高いことが明らかになったが、猫で**最も高い罹患率を示したのは泌尿器疾患で、特に男の子の泌尿器疾患罹患率が13.1%**であり、女の子の罹患率7.8%よりも高かった(図)。

【図】猫の疾患（大分類）罹患率



※1)2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった猫の男の子35,808頭、猫の女の子31,100頭を対象に調査。
 ※2)各個体における1年毎の契約について、その契約が開始した年齢毎に1契約＝1頭とみなした。
 ※3)0～10歳の年齢・性別による各群の母集団が10,000頭となるように補正した後の全体での平均罹患率をその疾患の罹患率とした。

わんちゃんは、消化器・皮膚・耳の疾患、
猫ちゃんは、
泌尿器疾患に、
 特に気をつけよう。

